

R6年度\_保育所等訪問支援ゆうゆう

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援ゆうゆう		
○保護者評価実施期間	令和7年2月15日		～ 令和7年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和7年2月15日		～ 令和7年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	令和7年2月15日		～ 令和7年3月15日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	令和年 3月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後等デイサービスとの多機能型事業所である。	放課後等デイサービスと併用をいただいている方に関しては、学校等の様子や状況を踏まえた上で、通所時の支援が出来る。顔見知りの職員が訪問支援を行うことで、早い段階から関係性を作れる。	訪問先の先生方と連携をさらに深めることで、共通理解を持って個々のケースに向きあっていきたい。
2	訪問支援員を複数名配置している。	複数の訪問支援員を配置することで、個々のケース共有を行い、実際に訪問する支援員だけでなく、チームとしてのアプローチ方法を考えていくことができる。	事業所としてのチーム力を向上させ、さらにスキルアップに励みたい。
3	運営母体が社会福祉法人である。	困難ケース等の会議開催がスムーズである。また、経験豊富な職員からのスーパーバイズを受けることができる。	現在はまだ件数が少ないため、今後も情報発信に努め、訪問支援員の経験を積んでいきたい。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部への事業周知が足りていない。	昨年9月に開所し、まだまだ外部への発信が足りていないのが実情である。	学校や保育所等へ出向き、保育所等訪問支援というサービスがあるということを発信していきたい。また、困り感のある方に繋げていきたい。
2	職員のスキルアップ	強度行動障害者養成研修、SST研修等に参加しているが、現状は件数が少ないため、もっと訪問支援の経験を積んでいきたい。	今後も外部、内部研修に積極的に参加し、研鑽に努めたい。
3			

R6年度\_保育所等訪問支援ゆうゆう

## 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	保育所等訪問支援ゆうゆう
------	--------------

公表日

令和7年 3月 31日

利用児童数

2人

回収数 1

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。				1		訪問先の了解を得たうえで、子どもさんの特性にあったものを提供できればと考えています。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1					
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	1					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	1					
適切な 支援の 提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	1					
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	1					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	1					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。			1			今後も会議等を行いながら、計画作成を行っていきたいと思います。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	1					
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	1					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。				1		今後も訪問先の状況に応じた配慮を行っていきたいと考えております。
保護	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1					
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思えますか。	1					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					

者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1				
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1				
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1				
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	1				
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	1				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	1				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1				
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1				
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1				
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	1				
	28	事業所の支援に満足していますか。	1				

R6年度\_保育所等訪問支援ゆうゆう

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				
保育所等訪問支援ゆうゆう		令和7年3月31日				
事業所名		利用児童数			回収数	
保育所等訪問支援ゆうゆう		令和7年3月15日			回収数 2	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	1	1		・訪問して様子を見てもらうことで共通理解がスムーズでした。 ・助言や説明をしている場面をずっと見ているわけではないので分かりません。	・個々の特性に応じた説明等ができるよう、今後も努めていきたいと思えます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1	1		・様々なことをわかりやすく話して下さり、支援について学ぶことができました。 ・助言や説明をしている場面をずっと見ているわけではないので分かりません。	・個々の特性や家庭環境を踏まえて、訪問先の先生方と今後も一緒に考えていけるよう努めてまいります。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	2			一緒に考えてくださり、方向性などがはっきりとして分かりやすかったです。	・今後も課題解決の手助けをさせていただけると幸いです。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1	1		本児に対する困りごとはほとんどなかったのですが、本児をとりまく状況を知ることができました。	・困難ケース等、すぐに課題を解決することができないものもありますが、今後も共に考えさせていただければと思います。
5	事業所からの支援に満足していますか。	2			園での様子を一緒に見てもらい、本児の良さも再確認できたのでよかったです。	訪問先の担任の先生方の理念や思いを実際に肌で感じることができ、我々も日々精進しなければいけないと再確認しました。
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
・支援の型にも様々な方向性があることを学びました。本児の様子をしっかりと見て頂き、おなじょうに気づきがあったことを嬉しく思います。今後ともよろしくお願い致します。				・訪問支援に入らせていただくことで、個々の取り巻く環境を知ることにつながりました。“子どものために”という思いをたくさん伝えていただき、感謝しています。我々もとても嬉しく、また日々努力をしていかなければと身の引き締まる気持ちです。子ども達の良い所、強みをさらに伸ばしていきたいです。今後ともよろしくお願い致します。		

R6年度\_保育所等訪問支援ゆうゆう

## 事業所における自己評価結果

事業所名		保育所等訪問支援ゆうゆう		公表日 令和7年3月31日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要 だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制・ 整 運 備 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2	2	教具教材は現在の所、使用していない。	訪問先の子承を得た上で、個々の特性を踏まえ、必要な場合は教具教材を取り入れていきたい。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	適切である。	
業務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	職員全体で振り返りを行い、次の訪問支援に繋げている。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	今年度9月より開所のため、今回が初めての評価となる。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	放デイとの多機能なので、来所の際の様子と共に共有している。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2	第三者評価は行っていない。	今後検討したい。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	法人内、事業所内、外部研修に参加している。	
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4	0	保護者と面談を行い、アセスメントをしている。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	職員全体で、共通理解を図り、支援内容を検討している。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4	0	担任の先生等と方向性を統一している。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	職員全体で計画から支援まで、共有を行っている。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	法人内で統一したアセスメント様式を使用している。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	ガイドラインに沿って、学校や保育所と連携を取りながら訪問支援を行っている。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	職員全体で計画から支援まで、共有を行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	支援内容や時間、保護者への連絡等、打ち合わせを行っている。	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	放デイとも連携し、振り返りを行い、日々の支援に繋げている。	職員の休み等が入り振り返りにタイムラグが出てくるケースもあるため、書面等も活用していきたい。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3	0	学校や保育所の理念等を尊重すると共に、授業等の妨げにならないよう配慮している。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4	0	必ず記録を行い、次の訪問支援に繋がるよう努めている。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	適宜、保護者や担任の先生とコミュニケーションをとり、計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	相談支援事業所や関係機関との連携強化に努めている。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	開所して約半年になるが、地域への事業内容の周知はもっと必要だと感じている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	担当者会議等を行い、スムーズな就学先への移行に努めている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4	0	外部研修に参加している。また、今後は専門家等による助言を受ける機会も設けていきたい。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	3	今後参加していきたい。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	日頃より保護者とのコミュニケーションをとり、その時の状況に応じて支援を行っている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	他放デイや児発達と協力し、保護者会の一環として、ペアレントトレーニングのグループワークを行った。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	契約時に説明を行っている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4	0	支援計画を元に、支援内容の説明を行っている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	子ども自身との面談の時間作り、また、家族の意向確認も適宜行っている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4	0	説明し、同意を得ている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	0	悩み等を共有し、支援に繋げている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	0	保護者会を年に数回行っている。参加型の場合は、きょうだい児の参加も歓迎している。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	電話やLINE等も活用し、迅速に対応できるように努めている。	

	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	0	月1回の広報に加え、インスタグラムやLINE等を活用しながら行っている。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	充分留意している。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0	LINEや電話等を活用している。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3	0	迅速に対応できるような体制づくりを行っている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3	0	支援後に担任の先生と行うようにしている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4	0	記録を元に支援内容を説明している。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	十分留意している。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4	0	特性を踏まえ助言を行っている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	法人内で規程集を整備し、訓練等も随時行っている。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	安全計画を元に、計画に沿った訓練等を行っている。また、随時必要な研修や訓練等も取り入れている。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	事故になる前に対策を考え、再発防止に努めている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	法人全体で虐待防止研修を受けている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	支援計画に載せ、口頭でも説明をし了解を得ている。	